

人財と製品作りを通して環境保全活動に努めます。



基本理念

私たちは、社会の一員として、
産業界への貢献を目指し、
人財と製品づくりを通して自主的かつ
積極的に環境保全活動に努め、
お客様から信頼される企業を目指します。

大阪金属株式会社

代表取締役 阪口 新太郎

行動指針

具体的に次のことに取り組みます。

1. 事業活動の全域で環境にやさしい企業活動を推進する。
2. 環境関連法規の順守に努める。
3. 電力及び燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
4. 原材料の節減、廃棄物の3R(減量・再使用・再生利用)の推進
5. 水資源の節減
6. 全社員の環境学習を推進し、環境保全に努めます。

この環境方針は、社外へも公表します。

2008年9月26日

代表取締役 阪口 新太郎

事業者名及び代表者名

大阪金属株式会社
代表取締役 阪口 新太郎



平成19年11月取得

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

本社：管理責任者 顧問 金光 常吉 072-268-0151
 本社：担当者 総務部次長 藤岡 直樹 072-268-0151
 和泉工場：担当者 営業部部長 参鍋 慶三 0725-53-3793
 朋友金属㈱：担当者 総務部門長 住本 薫 0725-53-3991

所在地



本社
大阪府高石市高砂3丁目30番地



和泉工場
大阪府和泉市テクノステージ
1丁目3番5号



朋友金属㈱
大阪府和泉市春木町68番地

事業内容(認証・登録の範囲)

各種鋳物製品の開発・設計・製造・加工及び販売

事業の規模

- ・工業製品出荷額計 106,740万円(平成21年実績)
- ・本社工場生産量 月産300^ト。(能力規模)
- ・従業員 40名(内数:朋友金属㈱ 9名)
- ・建屋規模(床面積)

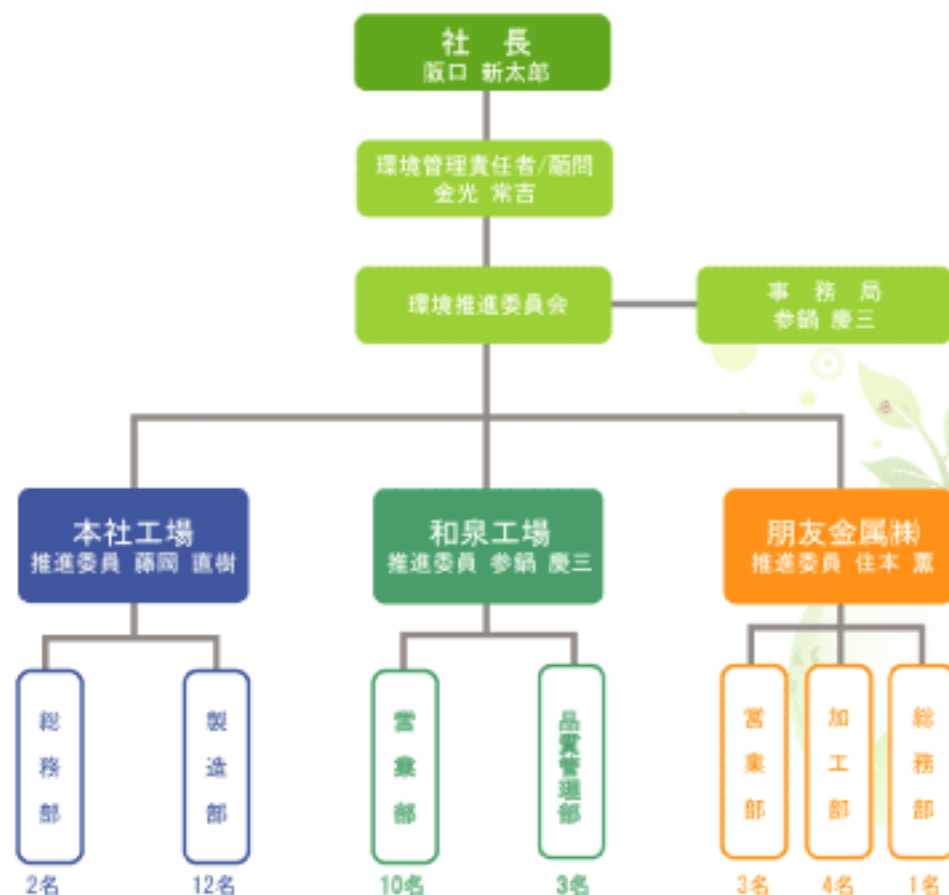
本社・本社工場	1,094㎡
和泉工場	970㎡
朋友金属㈱	1,208㎡

大阪府優秀技能者表彰受賞

現代の名工 金光 常吉 顧問 平成17年11月受賞
 なにわの名工 岩下 隆雄 品質管理部次長 平成16年11月受賞
 なにわの名工 北道 清二 製造部課長 平成15年11月受賞

事業年度

4月～3月



	役割・責任・権限
代表者 【社長】	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する最高責任者 環境管理責任者の任命 環境方針の策定、全従業員へ周知 環境活動レポートの承認
環境管理責任者 推進委員会委員長 【顧問】	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築・実施・管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・活動計画書・活動レポートの確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境推進委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成及び遵守評価の実施 環境目標・活動計画書の作成 活動実績集計 外部コミュニケーションの窓口 活動レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施 環境方針の周知 活動計画の実施及び達成状況の報告 緊急事態への対応のためのテスト・訓練・記録
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 決められたことを守り、部門長の支持に従い取組を実行する 自主的・積極的に環境活動へ参加

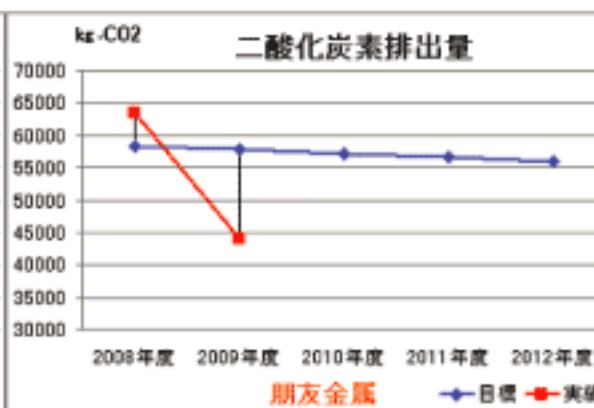
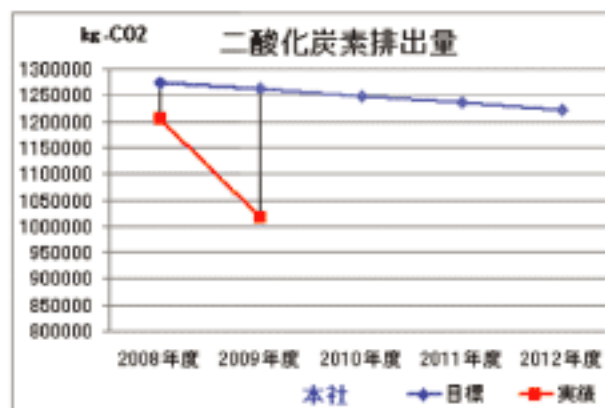
環境目標項目		対象別サイト	2009年度の環境活動計画		推進担当者
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)		本社	エネルギー使用量をサイト全体で共通し、1%削減を目標に取り組み、結果として同等量の排出減を目指す。		総務部次長
		和泉			営業部次長
		朋友			朋友金属㈱総務部門長
		計	2009年1～3月平均の1%減相当		
エネルギー使用量の削減	電気 (kwh)	本社		空調の適温化(夏:24℃→26℃、冬:24℃→22℃)	同上
		和泉	不要な照明を消す。	ショットブラストの時間短縮	同上
		朋友		空調の温度設定(夏:28℃、冬:20℃)	同上
		計	2009年1～3月平均の1%減相当		
	ガソリン (L)	本社	(特に定めず)		同上
		和泉	アイドリングストップ	適正速度の実施	同上
		朋友		効率的な運転	同上
		計	2009年1～3月平均の1%減相当		
	軽油 (L)	本社	(特に定めず)		同上
		和泉	アイドリングストップ	適正速度の実施	同上
		朋友		効率的な運転	同上
		計	2009年1～3月平均の1%減相当		
産業廃棄物 排出量の削減 (トン)		本社	ペントナイトの供給量の調整を図る。		同上
		和泉	木製から網スケットに変更し、木屑の発生を抑制する。		同上
		朋友	分別排出を徹底し、リサイクル・リユース率を上げ廃棄物量を抑制する。		同上
		計	2009年1～3月平均の1%減相当		
水使用料の削減 (m ³)		本社	手洗い場、食堂、トイレ等での節水ポスターによる節水のよびかけ。		同上
		和泉			同上
		朋友			同上
		計	2009年1～3月平均の1%減相当		

規模

環境目標項目		対象 サイト別		2007年度(基準年)		2009年(4~3月)			中間目標		
				総量	原単位	目標	実績	原単位	2010年度	2011年度	2012年度
規	生産量(t)	本社工場	2,073	—	—	1,762	—	—	—	—	
	従業員		19	—	—	17	—	—	—	—	
	販売量(t)	和泉工場	6,513	—	—	4,352	—	—	—	—	
	従業員		16	—	—	14	—	—	—	—	
模	取扱高(t)	営業 加工 朋友金属(株)	4,542	—	—	2,759	—	—	—	—	
					—	107	—	—	—	—	
	従業員	11	—	—	9	—	—	—	—		

二酸化炭素排出量(kg-CO₂)

対象 サイト別	2007年度(基準年)		2009年(4~3月)			中期目標		
	総量	原単位	目標	実績	原単位	2010年度	2011年度	2012年度
本社	1,286,757	620.7 /t	1,261,022	1,015,746	576.5 /t	1,248,154	1,235,287	1,222,419
和泉	69,395	10.7 /t	68,007	59,075	13.6 /t	67,313	66,619	65,925
朋友	58,918	13.0 /t	57,740	44,143	15.4 /t	57,150	56,561	55,972
計	1,415,070	-		1,118,964	-	1,372,618	1,358,467	1,344,317



* グラフの目標値は2007年を基準とした毎年1%削減の数値を表わしています。

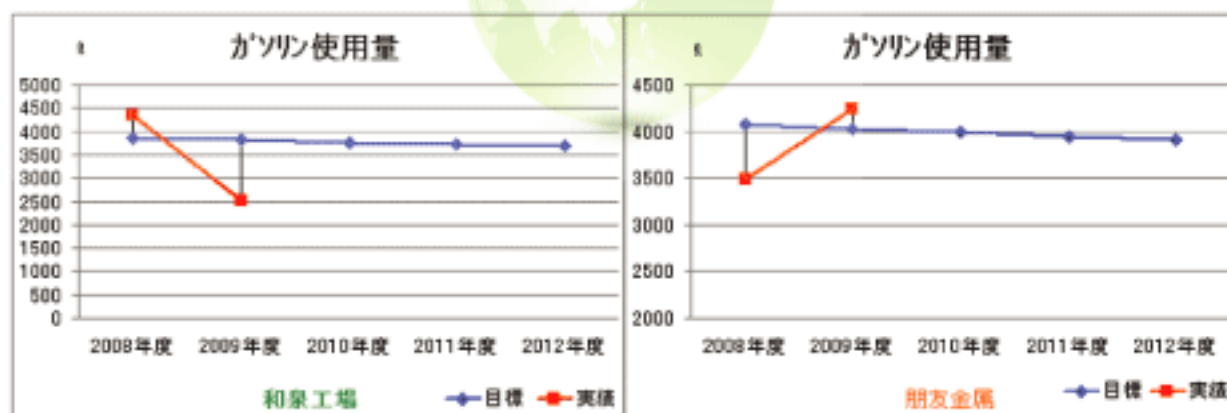
エネルギー使用量の削減・電気(kwh)

対象 サイト別	2007年度(基準年)		2009年(4~3月)			中期目標			
	総量	原単位	目標	実績	原単位	2010年度	2011年度	2012年度	
本社	3,275,520	1,580.1 /t	3,210,010	2,679,277	1,520.6 /t	3,177,254	3,144,499	3,111,744	
和泉	83,165	12.8 /t	81,502	70,503	16.2 /t	80,670	79,838	79,007	
朋友	営業	60,040	13.2 /t	7,800	5,615	2.0 /t	58,239	57,638	57,038
	加工			69,468	71,886	671.8 /t			
計	3,418,725	-		2,827,281	-	3,316,163	3,281,976	3,247,789	



エネルギー使用量の削減・ガソリン(L)

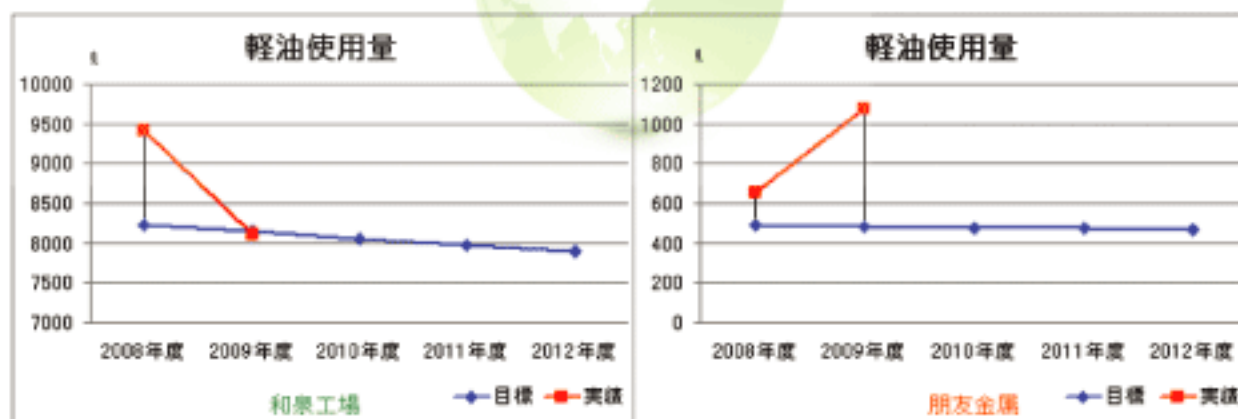
対象 サイト別	2007年度(基準年)		2009年(4~3月)			中期目標		
	総量	原単位	目標	実績	原単位	2010年度	2011年度	2012年度
本社	650	0.31 /t	-	-	-	-	-	-
和泉	3,889	0.60 /t	3,811	2,524	0.58 /t	3,772	3,733	3,695
朋友	4,116	0.91 /t	4,008	4,235	1.48 /t	3,993	3,951	3,910
計	8,655	-		6,759	-	7,765	7,684	7,605



* 本社のガソリンについては量的にも僅少で、当面環境目標としての扱いはしないとした。

エネルギー使用量の削減・軽油(L)

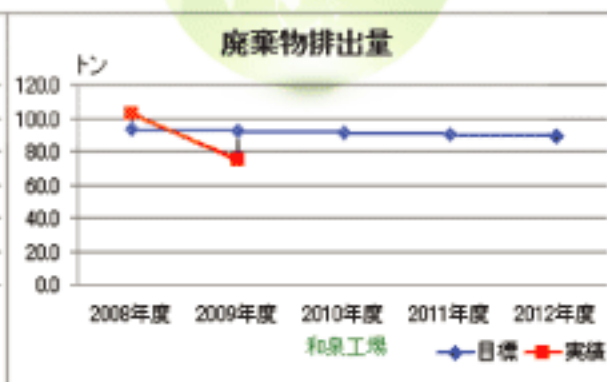
対象 サイト別	2007年度(基準年)		2009年(4~3月)			中期目標		
	総量	原単位	目標	実績	原単位	2010年度	2011年度	2012年度
本社	2,302	1.11 /t	-	-	-	-	-	-
和泉	8,310	1.28 /t	8,144	8,104	1.86 /t	8,061	7,978	7,895
朋友	492	0.11 /t	566	1,072	0.37 /t	477	472	467
計	11,104	-		9,176	-	8,538	8,450	8,362



* 本社の軽油についてもガソリン同様、当面環境目標としての扱いはしないとした。

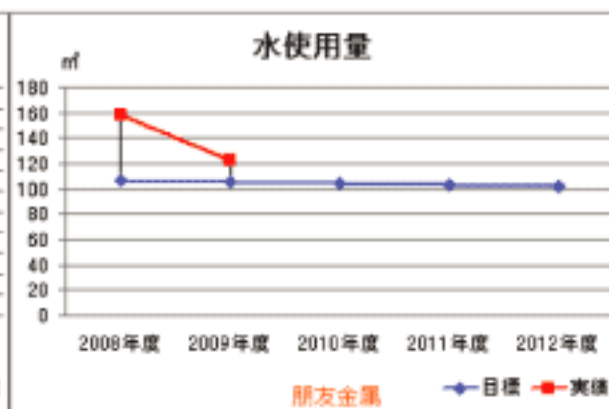
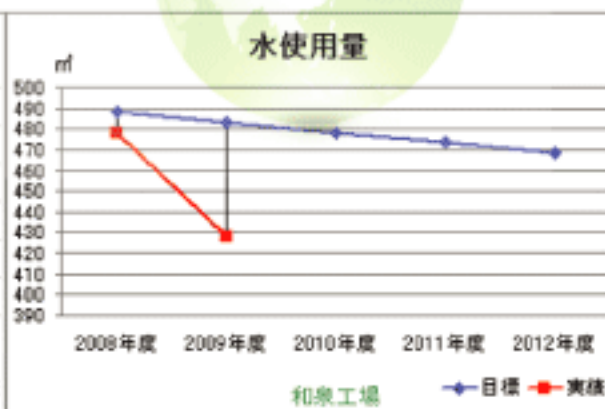
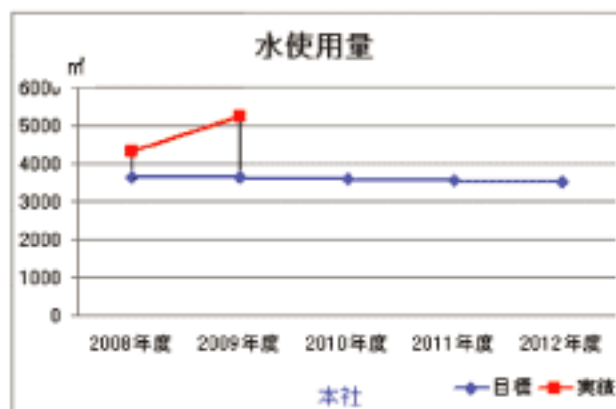
産業廃棄物排出量の削減(トン)

対象 サイト別	2007年度(基準年)		2009年(4~3月)			中期目標		
	総量	原単位	目標	実績	原単位	2010年度	2011年度	2012年度
本社	551	0.2658 /t	540	450	0.2554 /t	534	529	523
和泉	94	0.0014 /t	92.1	75.3	0.017 /t	91.2	90.2	89.3
朋友	1.35	0.0003 /t	1.32	0.88	0.0003 /t	1.31	1.30	1.28
計	646	-		526	-	627	621	614



水使用量の削減(m³)

対象 サイト別	2007年度(基準年)		2009年(4~3月)			中期目標		
	総量	原単位	目標	実績	原単位	2010年度	2011年度	2012年度
本社	3,696	1.783 /t	3,622	5,223	2,964 /t	3,585	3,548	3,511
和泉	493	0.076 /t	483	428	0.098 /t	478	473	468
朋友	108	13.4 /t	148	122	13.5 /t	105	104	103
計	4,297	-		5,773	-	4,168	4,125	4,082



達成状況

		本 社	和泉工場	朋友金属㈱
二酸化炭素 排出量の削減		総量達成率124.1% 対前年15.7%削減	総量達成率115.1% 対前年5.1%削減	総量達成率130.8% 対前年30.3%削減
エネルギー 使用量の 削減	電 気	生産高減少により 総量・原単位 共に達成	使用量では大幅な 削減。原単位は 未達成	加工部の使用 量は増加。全体 として減少
	ガ ソ リ ン	—	使用量は達成、 原単位は未達成	原単位では 目標達成
	軽 油	—	使用量は達成、 原単位は未達成	使用量が倍近く 増加。原単位 では達成
廃棄物の削減		生産高減少により 総量は達成。原単 位は目標見直しに より達成	排出量は達成、 原単位は未達成	分別排出の 推進により 大幅に削減
水使用量の削減		9ヶ月余り漏水 していたこと により未達成	使用量は達成、 原単位は未達成	一時帰休による 週4日稼働に因る ところが大きい

総 評

《本社》

2009年度は対前年度に比較して生産量が87.4%となり、総量の目標値は水を除いては達成出来た。水は漏水を発見し修理出来たので、2010年の目標を大幅に上げてトライする。又、生産状況は元に戻りつつあるので、今後は原単位の目標を重点に行う。

《和泉工場》

2009年度は、総排出量、総使用量は減少したが、原単位では達成出来なかった。2010年度目標値としては、生産量も少しずつ回復してきており、使用量は中期目標の2010年度とする。原単位は、2009年11月～2010年3月までの5ヶ月間の平均値の1%減とする。

《朋友金属》

2009年度は二酸化炭素排出量は削減できたが、加工部の電気、ガソリン、軽油の使用量が、増加となってしまった。今後、取扱量も増える見通しなので原単位を基本に目標設定をする。また2010年度は、2009年度の実績の1%減を目標とする。

本 社

法規制	評 価	評価方法又は対策内容
廃棄物処理法	順 守	大阪府報告 マニフェスト管理
騒音規制法	順 守	高石市騒音測定値報告
水質汚濁防止法	順 守	協同組合内処置 50m ³ /日 厳守
大気汚染防止法	順 守	高石市粉じん測定値報告 集塵機設置
消 防 法	順 守	高石市 1回/3年 点検実施報告書

和泉工場

法規制	評 価	評価方法又は対策内容
廃棄物処理法	順 守	大阪府報告 マニフェスト管理
騒音規制法	順 守	和泉市騒音測定値報告
消 防 法	順 守	和泉市 1回/3年 点検実施報告書

朋友金属㈱

法規制	評 価	評価方法又は対策内容
廃棄物処理法	順 守	大阪府報告 マニフェスト管理
騒音規制法	順 守	和泉市騒音測定値報告
浄 化 槽 法	順 守	1回/1年 定期検査

環境関連法規の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

代表取締役 阪口 新太郎

